40周年記念講演会がありました

今日は、太宰府西中学校創立40周年記念講演会がありました。講師は本校第17期卒業生で、現在、作家としてご活躍されている岡崎琢磨様でした。本校の創立記念として講話をお願いしたところ、快く引き受けていただきました。

今日の講話では、はじめに自己紹介として、いくつかのエピソードをお話ししていただきました。その後、「四半世紀前の君たちへ」という演題で、大きく２つのことを話ししていただきました。

前半は中学生時代から、高校、大学、小説家になるまでの様々な経験や思い、悩み等をお話ししていただきました。実際の体験や心境を丁寧にお話ししていただき、心に響くものがありました。

後半は、小説家としての生活の様子をお話ししていただきました。作家としてデビューするまでのことや、原稿をつくり上げる過程、経済的なことなどをお話ししていただきました。

代表質問では、「どうやって小説のアイディアを出しますか？」「おすすめの本は何ですか？」「今と昔で太宰府西中学校はどう変わりましたか？」「小説家として働く中で、勉強していてよかったことは何ですか？」等の質問が出ました。これらの質問に対して、岡崎様は丁寧に答えてくださいました。

今日の記念講演会で私が一番印象に残ったのは、「大人になると折り合いがついて、楽になる」という言葉でした。人間関係等で悩みがあっても大人になることでとらえ方が変わり、楽しい生活を送ることができるようになったということです。岡崎様も今の中学生と同様の悩みを抱えて生活していたが、大人になり社会人として充実した生活を送っていることに勇気や安心感を抱きました。生徒の感想はまだ、一部しか見ていませんが、生徒も同様に、卒業生であり、現在、小説家としてご活躍されている岡崎様の言葉から、勇気や安心感をもらっていました。

今回、40周年記念講演会として、このように講演を聴く機会を設けることができてよかったと思います。今日の講演を聴いて、子ども達もきっと、「もっと学校生活を楽しもう、充実させよう」と思ったことと思います。

改めて、太宰府西中学校をもっと楽しい学校、安心・安全で皆が笑顔で過ごせる学校にしたいと思いました。

☆　講演会の様子